

# JCHO金沢病院 院内フォーミュラリ

## 神経障害性疼痛治療薬

2026年2月作成（2026年3月薬事委員会承認）

推奨薬	プレガバリンOD錠25mg
	プレガバリンOD錠75mg

条件推奨薬	タリージェOD錠5mg
-------	-------------

条件:	既存内服患者の継続投与 プレガバリンが副作用等により使用困難な場合
-----	--------------------------------------

### 《有効性・安全性》

- 日本ペインクリニック学会「神経障害性疼痛薬物治療ガイドライン改訂第2版追補版」において、神経障害性疼痛（全般）の治療にあたってタリージェとプレガバリンは同等に使用可能と記載されている。
- プレガバリンとタリージェはいずれも $\alpha 2\delta$ リガンドであるが、タリージェは薬理学的特性から中枢性副作用が少ない可能性が示唆されている。実際、プレガバリンからの切替研究では、ふらつき・傾眠低下が報告されている。したがって、タリージェで安定している患者をプレガバリンへ変更した場合、副作用の増強や転倒リスク上昇につながる可能性がある。

### 《推奨理由》

- 有効性・安全性、各薬剤の特徴、当院における処方実績および薬価を考慮し、推奨薬をプレガバリン錠とし、タリージェは条件推奨薬とした。
- タリージェ錠で治療が安定している患者を無理にプレガバリンへ変更した場合、有害事象を誘発するリスクが懸念される。そのため、タリージェ錠は既存内服患者の継続投与を目的とする場合、ならびにプレガバリンが副作用等により使用困難な場合に使用する条件付き推奨薬とした。

### 《参考文献》

- 日本ペインクリニック学会、神経障害性疼痛薬物治療ガイドライン改訂第2版追補版